

3社第10号

山吹ふれあいセンター空調等工事

特記仕様書

平成23年11月

井手町教育委員会社会教育課

特記仕様書

1. 適用範囲

- 1) 本仕様書は、平成22年度山吹ふれあいセンター空調等工事に適用する。
なお、この仕様書で指示していないものについては、「土木工事共通仕様書(案)、土木請負工事必携、土木工事施工管理基準」(平成22年4月 京都府)によるものとする。
- 2) 本仕様書に明記されていない事項であっても工事遂行上当然必要な事項は監督職員の指示にしたがい、請負人の負担により施工しなければならない。
- 3) 電気設備特記仕様書は、図面No.1表記についても含むものとする。

2. 一般的事項

- 1) 工事の施工に当っては、諸法令を遵守するとともに関係機関に対し詳細な施工計画をもって請負業者が協議し、調整を図るものとする。
- 2) 本工事の施工に当っては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。
- 3) 請負者は、京都府土木請負工事必携・共通仕様書(平成22年4月)1-1-16(施工体制台帳)の規定によるほか、これ以外の工事であっても、必要に応じて、監督職員の指示により、国土交通省令に従って記載した施工体制台帳及び施工体系図を作成し、工事現場に備えるとともに、監督職員に提出しなければならない。
- 4) 請負者は、工事施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。
また、安全・訓練等の実施状況を記録し、検査時に提出しなければならない。
- 5) 工事による停電・振動・騒音等により、周辺家屋等へ影響がないよう十分注意し施工しなければならない。
- 6) 請負者は、産業廃棄物管理表(マニフェスト)制度を使用し適正な処理を行うとともに、完成検査時にこれらを提示し確認を受けなければならない。
また、産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約を行うこと。
- 7) 請負者は、建設副産物適正処理推進要綱に基づき、「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定められた様式(再生資源利用促進計画書・実施書)を工事着手前と工事完了後に提出するものとする。
なお、提出について計画書は施工計画提出時、実施書は工事完成時に提出するものとする。

8) 請負者は、工事の施工にあたって、工事現場の公衆が見やすい場所に標示板を設置しなければならない。標示板は、「道路工事現場における標示施設等の設置基準」に準じて作成するものとする。

記載項目のうち「工事内容」、「工事種別」については、以下によるものとする。

工事内容：空調設備を設置しています。

工事種別：山吹ふれあいセンター空調等工事

3. 工事仕様

1) 設備概要：

- ・ 室外機：ビル用マルチエアコン 6台
- ・ 室内機：40台
- ・ 空冷ヒートポンプパッケージエアコン：1台

2) 設置場所：山吹ふれあいセンター

3) 条件

- ・ 設計と施工を一体で行うこと。
- ・ 実施設計、施工図面、実施行程表等は、工事に着手する10日前に監督職員に提出し、承認を得ること。
- ・ 設備設置に伴い防水対策の必要が生じる場合は、適切に措置すること。

4. 施工条件事項

1) 作業日：本センターは、土日も開館していることから、作業日は、関係職員と十分調整の上、事前に監督職員の承諾を受けること。

2) 作業時間：原則として午前8：30から午後5時までとする。

3) 仮設計画：機器の搬入については、搬入経路を検討し役場業務に支障が生じないように計画すること。ガードマンを配置のこと。エレベータはなし。

4) 施行計画：各工程に先立ち施行計画を作成し、監督職員の承諾を得ること。停電・振動・騒音等を伴う作業を行う場合は、事前に監督職員と協議し、許可を得てから行うこと。

5. 性能試験

性能試験は、設備機器が正常運転に入り、安定し、かつ構成機器の性能が完全であることを確認した後、監督職員立ち会いの上実施する。

6. その他

1) 必要に応じて社会教育課が開催する、工程連絡会議に現場代理人、又は主任技術

者が出席するものとする。

2) 法定福利分の現場従業員及び現場労務者に関する労災保険成立証明書を提出するものとする。

3) 建設業退職金共済組合掛金収納書を提出するものとする。

4) 工事に伴う苦情や損傷に対しては、請負業者が責任を持って対応しさらには措置するものとする。その内容については、監督職員に速やかに報告すること。